

The Y'smen's Club of *Kyoto Prince*

THE SERVICE CLUB TO THE YMCA AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y's MEN'S CLUB

SANJOU YANAGINO BANBA KADO NAKAGYOUKU KYOTO JAPAN, GIP 604-8083
URL <http://www.prince-ys.com>

TEL 075-231-4388

強調月間
Menetts

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANES EVERY RIGHT"



Bulletin
2008.9

2008年9月1日号発刊
第23巻 3号
通巻273号

会長主題 (CP)

廣井武司

主題

「友情の輪を広げよう」

スローガン

和・話・輪

WA WA WA

人よ、何が善であり／主が何をあなたに求めておられるかは／あなたに告げられている。
正義を行い、慈しみを愛し／へりくだって神と共に歩むこと、これである。
旧約聖書 ミカ書 6章8節

国際会長 (IP)	V. S. Bashir (India)
主題	"Be the light of Hope" 「希望の灯となろう」
スローガン	"Share with a smile" 「分かち合いは微笑をもって」
アジア会長 (AP)	Rita. Hettiarachchi (Sri Lanka)
主題	"Be the light of Hope" 「希望の灯となろう」
スローガン	"Working together to serve better" 「より良き奉仕のためにもともに働こう」
西日本区理事 (RD)	佐藤典子 (熊本ジェーンズ)
主題	"思いやりを持ってワイズライフを!" 「Enjoy Y's life with Consideration!!」 —わかち合いは微笑をもって—
京都部部長	藤田寿男 (京都ウイング)
主題	"意識を持って活動に参画しよう" —555実現に向けて—



ニコニコ
8月第一例会 5,000円
8月第二例会 4,000円
累計 9,000円



ファンド
0円
0円
累計 0円



BFポイント
切手 0p
現金 0p
累計 0p



8月第一例会 14名
8月第二例会 16名
メーキャップ 1名
在籍者数 20名
出席率 85%

We are family

We are family

We are family

We are family

西日本区八十七クラブに三十六メネット会があり、ワイズメンをサポートされています。京都部でもメネット会のあるクラブは半分もありません。ある無しかかわらずメンをしつかり支えられ、楽しく活動されている姿をみては羨ましく思っています。プリンスクラブでは設立と同時にメネット会も発足して今日までできています。設立当時はメンバーも若く仕事に家庭に子育てに本当に忙しい日々を過ごしている上に、クラブにというのは家をあげ、メネットに多大な負担をかけていました。クラブ事業にもメネット、コメントの参加をお願いして、ほんとうに忙しい毎日を送っていました。

そのような中、年に一度ぐらいはメンに家事と子どもをまかせてメネットだけで思い切り、美味しいものを食べにいきましょうと・・・これがプリンスメネット会のスタートだったと記憶しています。



メネット！そのパワーによせて

会長 廣井 武司



その日はメンにとって大変な一日ではあったのですが、楽しく帰宅したメネットの話にいつもと違うメネットの姿をみて驚いたメンもあつたとか・・・

My home is your home
your home is my home

このころは、メン、メネット、コメントが一つの大きな輪のなかにいたように思います。



あれから長い年月がたち、人の意識も価値観も変わったのでしょうか。いやなにも世界は当時とはそう大きくは変わっていないとおもいます。変化をおこしているのは、自分の中にある「こころ」ではないでしょうか。

どうかクラブにあなたの声と顔、そして大きな笑い声を与えてください。思い切り笑顔の絶えないおらかなプリンスクラブにしてみませんか。



会員増強についてもメンだけでなくメネットと一緒にそのパワーに期待しています。

いまEMCとドライバー委員会の第三グループで十一月五日の〇〇人例会にむけて着々と企画が練られています。他人ごとではありません、今からみんなで行動しましょう。そしてその日がプリンスクラブにとっていつまでも記憶に残る素晴らしい記念日になるように、みんなの叡智を結集させましょう。あなたの代わりはあなたしかいませんよ。



8月第一例会

ゲストスピーカー

京都YMCA 神崎総主事



次期西日本区LD委員会
古川安雄

神崎総主事は精一杯の意気込みで、Y.M.C.A.やご自身の体験された様々な事を、可能な限り伝えようとされまして。我々は自然に集中して聴いておりました。特に、流石YMCAならではの理念と今更ながら感心致しましたのは、1, 2歳からお年寄りまでの全ての人に開かれた団体の姿がめざましく「ウエルネス」と、計画的に会員を養成して行く「メンバーシップ・バイ・デザイン」でした。Y.M.C.A.の赤い三角形のマークに象徴される「身体、精神、知性のバランス」と統合、継続的成長、

神と人への奉仕」の考え方を骨格にしつつ、それをさらに発展させた考え方であり、各人が与えられたその状況のなかで、自らの潜在的な可能性を最大限に求める生き方です。精神、知性、身体、情緒、社会性などの各要素間のバランスを大切にしつつ全体を統合させ、質の高い生活をめざす生き方を示し、概念は人間をトータルにとらえようと

たYMCAの基本理念に基づくもので、現在および将来の人間と社会のあり方と生き方をさし示すものです。Y.M.C.A.で行われる全ての活動は、このウエルネスの理念に基づいて展開されています。「全ての人がびとに健康づくりの機会が与えられるように」との観点から、幼児から高齢者までを対象に、幅広くさまざまな分野、種目にわたって展開しています。この活動をとおして、すべての参加者が新しい仲間と出会い、生き甲斐を見出し、よりよく生きようとする積極的な価値観をもち、生き生きとした「ウエルネスライフ」をつくりだすことを願っています。更に、「メンバーシップ・バ

イ・デザイン」の構想で、入会や参加した方が、活動を体験し勉強し自己研鑽して、その進化した延長線上で今度は伝える側に成長して行く。つまり、ただ単にY.M.C.A.のスタッフはフィットネス、英会話等を教える事だけが全てでは無く、人を通して1, 2歳から高齢者、家族、社会等の多様な世代間の交流を生み出す事が出来、責任有る社会の一員

としてYMCAが育てると言う理念を改めて再確認致しました。我々ワイズメンも、今一度、この事を再確認し、意識して実践して行くことも増員出来ると実感致しました。



そっ、そうだったのか！



新人研修の様相でいした。

次期西日本区LD委員会
委員として古川安雄君を
輩出

古川君は過去二回プリンス賞を受賞した。プリンス賞受賞のアクティブなメンバーです。プリンス賞とは、その期において最も活躍されたメンバーに贈られるものです。入会してまだ9年ほどの彼が二度も受賞するという事で、その活躍ぶりが予想できると思います。「LD委員になって西日本区で活躍してくれることは間違いないことでしょう。頑張ってください！



8月第二例会



ドライバー・25周年夢実行委員長
森伸二郎

BF訪問報告と 割り箸回収事業の行方

猛暑の続く今夏、八月第二例会は、お盆休み明けの二十日(水)、岡西ワイズ紹介の若いメンバー候補を迎えて行われました。今期の第二例会は、食事時に限り飲酒を良しとすることが、総会で承認されて初めての第二例会。設立以来、通常例会での飲酒ご法度とされて来た我がクラブにとつて、吉と出るか凶と出るか？中ビン1本千円のビールを飲みながら食事を楽しむ。そのために車以外で例会場へ。初めての試みで売れたビールは、5本でした。



熱心にクラブの説明をする
スポンサーの岡西君



西堀君お疲れ様でした。

例会の前半は、西堀君代表の報告。南米から無事帰国され、主にウルグアイとブラジルのミミとワイズメンスクラブについて、お話をしていたいただきました。クラブ数もワイズメンの数も日本に比べると少なく、高齢化が進んでいるのは世界的な傾向の様。そしてワイズメンが、ミミのボランティア事業のスポンサーである事も変わりの無いことと思えました。



ビールがなくても元気な
西村EMC委員長とメネット



後半は、前期CS・環境事業の「使用済み割り箸回収事業」について元メネット会長と元CS・環境委員長より報告をしていただきました。「何でドライバー委員会が、そんな事するねん」と思われたメンバーもおられたようですが、特に問題にはされず、また時間的に十分でなかつた事もあつて、メンバーの意見も十分に聞けないまま、ニコニコに突入。
四人のメンバーからニコニコを貰つて、午後九時を数分廻り閉会となりました。
今日の例会は、それぞれ立場の思いが、交錯した結果の例会だったように感じました。

私のBF代表訪問

渡邊公生

私は '98-'99 年度のBF代表としてアメリカに行かせていただきました。40日間という長い訪問でした。その訪問時のことを忘れないように、また送り出してくれたクラブや西日本区のかたがたに、簡単な小冊子を作り配布したことを思い出します。BF代表はワイズメンとして大変なひとつの仕事です。西堀さんもいえない苦労を現地ではされてきたことでしょう。

入会してくれるかなあ？



第68回国際大会 in デンマーク

国際大会報告



広報委員長
渡邊公生

第68回国際大会（インデンマーク）に九百七十八名のワイズメンがデンマーク内外から参加したワイズメンズクラブ国際協会第88回国際大会。日本からは東西合わせて109名の参加があったものの以前から比べれば少ない参加者だと聞く。京都からは藤田京都都部長ご夫妻と私だけの参加となりました。

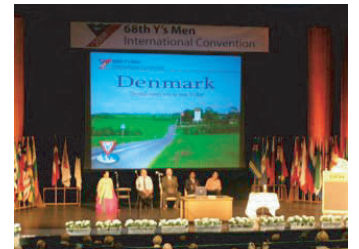
一日目

大会会場はデンマークへアニンにあるヘアニン会議場、午後二時開会、今季国際会長を務めるMitsuo Bashilがワイズメン旗の旗手となつて入場し各国の国旗も後に続き入場開会式が始まった。

ヘアニンの市長からのビデオメッセージや世界YMCA同盟のDr. Bart, シャハによる「Be the Light of Hope」キーノートスピーチをいただくことができた。

PIP, PPIの引き継ぎ式が開会式の後に続いて行われた。開会式当日の火曜日は朝から好天に恵まれ、ワイズメンの熱気とともに会場の内外は今までになく熱気に包まれていた。

国際大会に来ると当然のこ



978名の参加で開催された68回国際大会

昨年京都の半日観光の案内をさせていたいただいた今期の国際会長バシール氏と会場が目があった瞬間に、彼のほうから京都での案内に感謝すると言ってくれ、一緒に写真を撮っていたことができたと顔覚えていたのもある。バシールにしてもオレ・ハンセン氏にしても京都でのことを覚えてくれていたのである。私自身は半日くらいの観光でまじや、多くの国々のワイズとの交流がある両氏にとつて、半日観光のお手伝いなどはほとんど記憶にないだろうと思っていた。がさすがに国際会長と元国際会長、その記憶力には感心した。人と人との出会いは良いものと改めて感じた。

夕食は元国際会長（元PIP）が主催する晩餐会となった。会場は熱気でムンムン、席は同じ国のメンバーが固まらないように、また席に然る後列があるのは当然だが、メンバーを平等に楽し

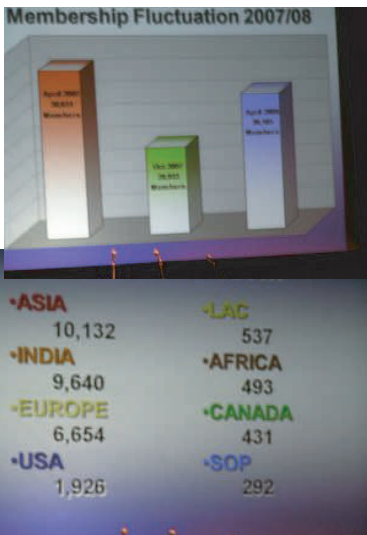
二日目

九時からのモーニングデボーション（朝の祈り）に続いてISC（国際書記）から報告がありました。

*Membership

PIP, Choy, Han-Kisの目標が三〇〇〇〇人+となっていた。メンバー動向を二〇〇六年、2007-08は（写真参照）なんと三〇〇〇人は超えています。エリア別のメンバー数を見てみると、日本が入るアジアは一万百三十二名でトップヨーロッパが六六五四名で二位、以下は写真の通りで、西日本は二〇〇〇名を目標にしているが、デンマークでは530万の人口でありながらワイズメンは日本より多い3000名は超えている。（筆者が聞き逃しているために現時点での正確な数字がわかりません）

デンマークのすごさはこれを見れば一目瞭然です。



* International Programmes 2007/2008
Goal: CHF 633, 905
Actual: CHF 588, 604 (88%)

Time of fast (TOF)
CHF 281, 484

Brotherhoodfundofand

CHF 170, 725

Alexander Fau

(CHF) 143, 330

Endomonto funde

SHF 84.6Endomonto funde

SHF 84.641

* FORWARD PLAN

- * YMCAとの良好な関係
- * メンバー増強
- * 新しい都市でのワイズメンズクラブの開発
- * リーダーシップおトレニングと組織の開発
- * ユースとの密接な関係づくり
- * 地域奉仕が挙げられ、これは特別なものではなくワイズの基本である。そのほかに財政やエンドメンとファンド、についても報告された。

MEMBERSHIP

ASIA	10,132	LOC	537
INDIA	9,640	AFRICA	483
EUROPE	6,654	CANADA	421
USA	1,826	OC	292

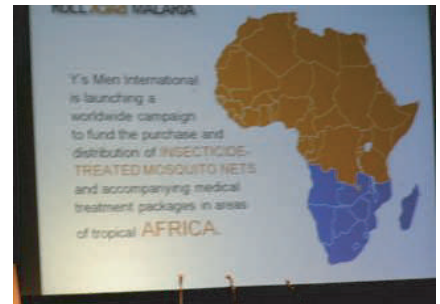


* ROLL BACK MALARIA

マラリア撲滅のための運動支援

Project launch (プロジエクトの開始) 10月24日
Estimated cost (予算見積り) US\$7.50
Contributions (寄付) 1605clubs
30000members
Target 20,000組

マラリア撲滅キャンペーンは国連が行っている事業で、現在国連がキャンペーンを行っていています。一般的に集めている寄付金額の単位は\$50で、そのうちの\$5が根との原価となり残りが寄付と



アフリカではマラリアによって毎日2000人の子供たちが死んでいる。



ネットの原価は\$5ですが集めるドネーションは\$7.5となっています。製品は住友社製です。このキャンペーンにはアメリカのバスケットボールチームや、教会などの協力も得られています。

この運動にワイズメンズクラブが協力するということ。千六百のクラブ、三〇〇〇人のメンバーを目標に取り入れています。このキャンペーンの開始は二〇〇八年の十月二十四日から始まり二〇〇九年の三月三十一日で終了します。今後三のくを通じてリジョン、からクラブへと情報が流れてく



私たちのクラブは何人の子供たちの命を救うことができるのでしょうか？

午後は各事業委員会毎において分科会が開催されました。分科会はIBC、Yサ、ワイズメネット、ユースなどがあり、私はユースに参加してきました。なぜならば、ワイズメンズクラブの発展にはやはり次代を担う若い人たちの三角が必要です。その先頭に立つのがユースであり、Yのリーダーたちなのです。そういった意味で、今回ユースの分科会ユースについて知りたいと考え出席いたしました。残念ながら今回はユースの活動についての詳細なことはなくユース新クラブ設立に関する手続き方法などを話されました。

三〇日

★アジア議会

引き続き アジア議会が新アジア会長となったロニヤの手によって開催されました。議会では役員の引き継ぎ、会計報告などが行われ次回アジア大会がスリランカで開催することも決定しました。

また韓国リジョンから韓国エリアとしての独立の提案がなされましたが、当該議会においての取り上げは却下されました。

この問題はエリア分割という大きな問題だけに韓国リジョンからのアジア議会に対しての緊急動議的な提案については受け入れることができないというのが理由です。今後国際の場において提案検討されるかも知れません。



午後

は大会の息抜きというのか、大会プログラム自体に組み込まれているエクスカージョンにほとんど全員が参しそれぞれコース、コース、コースの三つがあり、メンバーは決められた観光コースのバスに分乗、半日観光へと繰り出しました。

私は東日本区のクラブのメンバーとともに、オールドタウンの見学に参加しました。ここは日本であれば明治村のようなもので、デンマークの伝統的建物を古いまま移築し、作られた村であります。ここでは、実際に生活をしているように多くの人が暮らしぶりを見



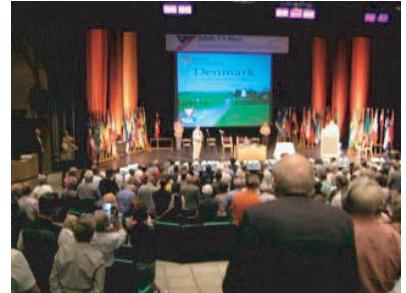
2010年横浜で会いましょう

四〇日

閉会式

ユースコンボケーションの報告
大会の前からこの地に来た十六カ国のユースたちが、八十三名が一週間の滞在の間に交流を深め学び、そして次の時代を担う人として語り合った内容を報告してくれました。
このユースの活動がワイズメンだけではなく世界に大きな影響を与える人に育ってくれることを願うものです。

閉会式は聖書が閉じられ、ろうそくの灯が消された静かに幕を下ろしました。
次の国際大会は横浜で開催されます。新たなワイズの活動の鼓動が遠いところから聞こえてきます。



国際大会に参加し

渡邊公生

オリンピックは参加することに意義があります。(最近では少し違うようですが)ワイズも参加することに意義があります。まずは例會に参加してメンバーと握手を交わす。「元氣そうやな」黙っていてもそれだけで良い。部會に出席、「しばらくして心と一年ぶりの再開に紹介されて人の輪がつながっていく。人が集まるところには人の輪ができていく。仲間と会話をし、心が和んでいく。これがワイズである。

今大会は遠い国「デンマーク」で開催されてこともあり、残念ながら京都部からは3名しか参加しませんでした。日本ではお盆前、「そんな長くは休めない」「高いなあ」といけない理由はお金や時間に変えられないもの。それがワイズにはあります。「クラブは何もしてくれない。」ではなく「自分がクラブに何ができるか」と私はパレスクラブで教わりました。「自分にはこれかできない」とファンド委員会で走り回り、サブエドも一輪車を押していました。いつか自分も日本区大会や国際大会に参加したい。参加できる自分になりたい。そう思っておりました。

紳士である。「当時もそして今も、偶然エクスカーションで隣の席に座らせていただくことができた。いろんな話をしていた。年齢、国、性を超えて交流できる。これがワイズのワイズらしきところだろう。貴重な時間と高い参加費以上のものがまた得ることができました。これからクラブに何ができるか、それが少しずつ見えてきた気がします。最後に、今回も西日本区事務所、北村ワイズに参加した西日本区のメンバーの多くが世話になりました。心から感謝いたします。

国際大会はどうしても言葉の壁がある。でも出合いは確実にある。同席していただいたデンマークのメンバーと孫の話になり、私が乳母車を探している。といったところ、「明日連れて行ってあげる」としてデザインと機能の良い乳母車を安く購入できた。元国際会長の内内さん、代表としてアメリカに行ったときハワイで一緒に過ごしていただいたから、いろんな大会で声をかけていただく。レゴランドでボートに乗っておられた竹さん御後夫婦のたった一枚の写真をお撮りしただけで「渡邊さんありがとう」と大きな手で手を振っていた。心で思う「中村次郎さん、言わなくても多くのメンバーが知っている。元日本区理事、

平和のつどい2008 「核のない世界を アジアから」



交流・ファンド委員長
岡西博司

8月22日(金) 京都三条YMCAで、ステイブン・リーパーさん「パーさんの講演が持たれました。参加人数、残念なことに30名ほどでした。こんな話は、めつたに聞けるものでもないのに、本当に残念な気がしました。ステイブン・リーパーさんは、1955年の青函連絡船「洞爺丸」海難事故で、救命胴衣の紐が切れた女性を救うために自分の胴衣を渡して、自分は亡くなられ、人々に感動を与えたディーン・リーパーさんの息子さんで、今は広島平和文化センターの理事長になられ、世界中から核兵器を廃絶する為に東奔西走されておられます。今日のお話を、簡単に一言で言うならば、「核兵器を廃絶しましょう。そのために我々は核廃絶を叫びましょう。」

本日にいろんな話が出てきました。が、一番印象に残ったのは、核兵器を廃絶することさえ出来ないようでは、今言われていく、温暖化を防ぐこととのほうがよっぽど難しいのに、そんなことが出来のではありません。まずは、核廃絶をしなればならないと思います。と、言うことでした。何処かで、一発核爆弾が爆発したら、一瞬のうちに、この地球は生命の住めない星になってしまうでしょう。その危機感をみんなが持つて核廃絶を叫ぼうではありませんか。

草の根運動として、全世界に広げなければならぬ。簡単に言えば、こんなことで、現在の世界の動きと合わせて、いろいろとお話されました。例えば、この前の湾岸戦争で、危うく核兵器がイランに落とされるところであった。とか、今のアメリカが経済的にも破綻寸前であるのにもかかわらず、世界のボスになるうとして、自分は核兵器をいっぱい持つていながら、他国には、核兵器を持たさないようにしようとしているが、誰がそんなことを承諾するもんか。日本の我々が、アメリカにしっかりと抗議していかねばならない。

京都YMCAからのお知らせ

1. YMCAサマープログラム報告と感謝

今夏もサバエキャンプ場、リトリートセンター、三条本館のスイミングプールやホールをはじめ各地で、多くの青少年が参加者として、更にはリーダーとして参画をすることを通して、心身ともに育まれ豊かな時を過ごすことが出来ました。これもワイズメンの皆様のご支援、ボランティアリーダーに対するサポート、各施設におけるワークをはじめとした多大なるご支援により、すべてのプログラムが実り豊に実施できましたことをご報告し感謝を申し上げます。

更には、心やからだに障がいのある子供たちをはじめとした「小さくされた人」に、隣り人として寄り添っていただきましたことも、励まされ勇気付けられものでありました。心より感謝いたします。

2. 京都YMCAは120周年を迎えます。

2009年2月に京都YMCAは創立120周年を迎えます。

この120周年を機に、5年後の125周年(2014年)に向けて、私たちの「京都YMCAのあるべき姿」を構築すべく取り組みを開始いたします。(PLAN125)

このプランは、YMCAの使命を果たすべく方向性を探り、事業計画の策定、更には公益法人制度改革に対応しつつYMCA本来の組織の有り様などを検討し構築すべく「PLAN125」として作成するものであります。

今後は各委員会やタスクチームなどで検討され、会員の皆様にも2009年の「会員集会」や「京都青年」などによって適時ご報告をさせていただきます。

3. 国際福祉専門学校入学希望者をぜひご紹介ください

国際福祉専門学校は10月1日からの願書受け付け開始に備えて、募集活動を実施中です。

【介護福祉学科】

「すべてのひとりひとりのために」よりよいケアを求めて行動しつづけることができる

介護福祉士を養成します。

- ・4年連続(2005年~2008年)就職率100%達成!
- ・卒業と同時に国家資格「介護福祉士」を取得(2011年度卒業生まで国家試験免除)

【社会福祉学科(夜間2年制)】

社会福祉士への近道がここに!

- ・卒業と同時に「社会福祉士」国家試験受験資格を取得
- ・2008年春 社会福祉士国家試験合格率 本校78.6% 全国平均30.6%

皆様からご紹介くださった方が当校を受験される場合は受験料(20,000円)を免除させて頂きます。またご紹介の方には心ばかりの粗品を進呈させて頂きます。

お問い合わせ等がございました際は、専門学校社中までご連絡をお願いします。

京都YMCA国際福祉専門学校 辻中康宏 電話075-432-3191 FAX075-432-9440
e-mail tsujinaka@kyotoymca.or.jp

4. 後期募集のお知らせ グローバルアウトドアクラブ スイミングスクール ユーススポーツ

9月9日(火)午前10時より 一般の方の後期募集がはじまります。

お知り合いの方でご興味がある方がいらっしゃいましたら是非お勧めください。

ご継続の方で定員に達しているクラスもございます。詳しくはお問い合わせください。

お問い合わせ・お申込み共に下記まで。

グローバルアウトドアクラブ
スイミングスクール・ユーススポーツ

電話(075)231-4388
電話(075)255-4709

9月の予定

3日(水) 第一例会(通常例会) PM7:00~9:00
グランドプリンスホテル京都
第一回25周年「夢」実現例会
ワイズ成長期を支えたワイズメンに聞く

7日(日) リトセン準備ワーク

14日(日) 京都部部会 受付開始 14:00~
開会 15:00~
ホテルグラビア京都

10月の予定

1日(水) 第一例会(合同例会) PM7:00~9:00
リーガールoyalホテル京都

15日(水) 通常例会(通常例会) PM7:00~9:00
グランドプリンスホテル京都

役員会報告

役員会報告

嗟維功樹入会の件
100人例会PT結成の件

承認
承認

ハッピーアニバーサリー



今月はありませんでした。

ハッピーバースデー



5日 西村寛子メネット
7日 岡西知子メネット
22日 古川安雄君
26日 村山邦江メネット
28日 加藤敏明君